

ミラーダズル

1. 化学品及び会社情報

商品名： ミラーダズル
 推奨使用方法： ガラスクリーナー
 使用における制限： 業務用
 製造元： EAST CHEM Pte Ltd
 所在地： SINGAPORE
 TEL： (65) 6542 0990
 輸入販売元： 東栄部品株式会社
 住所： 東京都豊島区南大塚 3-30-4 ウィステリア南大塚ビル 4F
 TEL： 03-3946-8111
 FAX： 03-3946-8116
 担当者： 東栄部品株式会社 足立直哉

2. 危険有害性の要約

物質または混合物の分類	OSHA* HCS* 2012	皮膚の刺激性 区分 2 - H315 特定標的臓器/毒性 (単回ばく露) 区分 3 : 眠気やめまいの恐れ-H336
ラベル要素	危険有害性情報	該当なし
使用上の注意		皮膚に刺激をもたらす恐れ-H315 目に刺激をもたらす恐れ-H315 眠気やめまいの恐れ-H336
安全対策		熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。-P210 容器を密閉して置くこと。-P223 涼しいところに置くこと。-P235 容器を接地すること/アースをとること。-P240 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。-P241 火花を発生させない工具を使用すること。-P243 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。-P261 取扱い後、よく洗うこと。-P264
応急措置		屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。-P271 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。-P280 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。-P370+P378 吸入した場合：被災者を空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。-P304+P340 気分が悪い時は、医師に連絡すること。-P312 皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。-P302 + P352 皮膚を流水/シャワーで洗うこと。-P353 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。-P362 皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。-P332+P313 特別な処置が必要である。補足的な応急措置の情報を参照。-P321
保管及び処分	その他の危険性	国際/国/都道府県/市町村の規則に従って内容物/容器を廃棄すること。-P501 換気の良いところで保管すること。容器を密閉しておくこと。-P403+P233

*OSHA - 米国労働安全衛生局

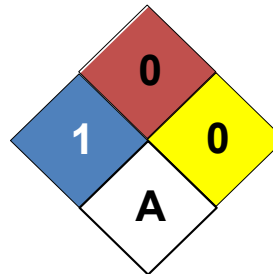
*HCS -危険有害性周知基準

その他の情報

原液使用

NFPA(全米防火協会)等級

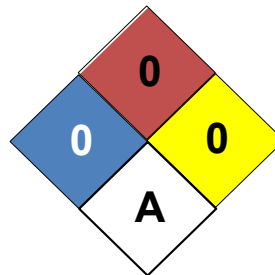
- (青) Health =1
- (赤) Flammability =0
- (黄色) Reactivity =0
- (白) Protection =A



希釈使用 (適用外)

NFPA(全米防火協会)等級

- (青) Health =0
- (赤) Flammability =0
- (黄色) Reactivity =0
- (白) Protection =A



3. 組成及び成分情報

物質の基準を満たさない成分： 混合物

物質	識別	有害性物質 % (重量)	LD50/LC50	規則による分類	備考
テトラヒドロフラン	CAS:109-99-9	1%~5%	データ無し	OSHA	データ無し

4. 応急処置

応急措置

- 吸い込み： 新鮮な空気を吸って下さい。
- 皮膚： 石鹼と水で洗って下さい。刺激が生じる場合は医師に相談して下さい。
- 目： コンタクトレンズをしている場合は外して下さい。水で十分に洗い流して下さい。医師に相談して下さい。
- 飲み込み： 無理に吐かせようとしないで下さい。頭がふらふらする、意識が無い、もしくは嘔吐している場合は、回復体位で横向きに寝かして下さい。医師に相談して下さい。

医師による応急手当または特別な治療に関する注意

医師への注記事項： 診断から見られる患者の徴候や症状に応じて治療をして下さい。本製品以外の物質へ過度にばく露した可能性も考えられます。

最も重要な急性及び慢性の症状及び影響：

セクション11の「有害性情報」をご参照下さい。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤： 通常の泡、二酸化炭素、または粉末の消火剤
不適切な消火剤： 水の使用は火災を強めるため避けて下さい。

物質/混合物による特定の危険性 異常火災、爆発の危険性：

熱、火花や炎によりすぐに燃え上がります。容器は熱により破裂する恐れがあります。高可燃性の液体、蒸気です。蒸気が空気と混ざること、爆発性を含む混合物を生成する恐れがあります。屋内、屋外、もしくは下水道内で蒸気爆発の危険性があります。蒸気は着火源に流れる恐れがあります。下水への流出液は火災または爆発危険性の恐れがあります。

危険な燃焼生成物： 煤煙、ガス、蒸気、酸化炭素、種々の炭化水素

消防士への注記事項： 消防士の着用する防護服のみでは十分に保護出来ません。製造業者が推奨する化学物質用保護具を着用して下さい。化学物質用保護具に断熱保護効果はほぼ(もしくは全く)ありません。
自給式呼吸装置 (SCBA) を着用して下さい。安全が確保出来るのであれば、火災エリアから容器を遠ざけて下さい。火災に接触した容器を冷却するために水をかけて下さい。

6. 漏出時の措置

予防措置

清掃方法： 不活性の吸収素材でこぼれをふき取って下さい。こぼれたエリアを適切な洗浄剤及び水で洗って下さい。

個人予防措置、保護用具、緊急措置

個人予防措置： 呼吸器の保護機能を備える適切な保護用具を着用して下さい。流出物質に触れること、その上を歩くことは避けて下さい。適切な保護用具を着用していない時は破損した容器や漏洩物に触れてはいけません。

緊急予防手順： 直ちに全ての方向に最低半径 50 メートルの距離を漏洩地域として隔離して下さい。いかなる着火源を除去して下さい。(隣接地域での喫煙、閃光、火花または火災は禁止)。低地へ近づくことは避けて下さい。関係者以外は近づけないで下さい。風上に留まって下さい。密閉された場所に入る前は換気をして下さい。

環境予防措置： 流出物質が水路や下水道へ流入するのを避けて下さい。

汚染や清掃のための素材・対処法

汚染や清掃方法： 安全が確保出来るのであれば漏れを止めて下さい。本製品取り扱い時に使用される用具はアース接続する必要があります。乾いた土、砂または他の不燃性物質で吸収させるか覆い、容器に移動して下さい。吸収した物質を集めるには火花を発生させない工具を使用して下さい。蒸気抑制泡剤は蒸気を減らすために用いて下さい。大量の漏れ：後に回収するため、液体が漏れた箇所に土手を作って下さい。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全な取り扱い方法

取扱い： 熱源や発火源から遠ざけて下さい。-禁煙。本製品は流動や攪拌などにより、静電気が発生することがあります。静電的に敏感な物質を積みなおす場合は、容器及び受器を接地、結合して下さい。容器が空でも製品の残留物が残存して有害性があります。容器に加圧、切断、溶接、ろう付け、はんだ付け、穴開け、研磨操作を加えることや、容器を熱、火災、火花、または他の発火源にさらしてはいけません。容器は爆発

し、傷害や死亡事故を引き起こす恐れがあります。適切な換気せずに使用しないで下さい。適切な手続きの下で制限地域に入って下さい。

不適合性を含む安全な保管方法

保管： よく換気がされていて発火点から離れており、涼しく気温の低い場所で保管して下さい。使用時以外は容器を密閉して下さい。不適合物質からは遠ざけて下さい。

不適合物質及び発火源：

熱源及び発火源、酸化性物質、強酸物質から離して下さい。

8. ばく露防止及び保護措置

制御パラメーター

ばく露制限/ガイドライン

	結果	*ACGIH	カナダ オンタリオ	カナダ ケベック	中国	*NIOCH
データ無し：	-	-	-	-	-	-
ばく露制御						
工学的制御方法：	大気中汚染濃度をばく露ガイドライン/制限未満に制御するよう適切な換気を実施して下さい。					
個人用保護具						
絵表示：	データ無し					

- 呼吸器保護：** 換気が十分でない場合は適切な呼吸器保護具を着用して下さい。29 CFR 1910.134にある OSHA の呼吸器規格に従って下さい。もしばく露限界を超えた場合、または症状が現れた場合 NIOSH/NSHA に認可された呼吸器を使用して下さい。
- 目/顔：** 安全ゴーグルを着用して下さい。
- 手：** 保護用手袋を着用して下さい。-袖付きのネオプレン、ブチルゴム、またはニトリルゴム製手袋。
- 皮膚/体：** 皮膚への広範囲に及ぶばく露の恐れがあるところでは、化学防護服やエプロンを着用して下さい。
- 適切な衛生対策：** 適確な工業衛生管理に従って安全に取り扱って下さい。本製品の取扱い後、飲食または喫煙前は手を石鹸と水で十分に洗って下さい。作業場の近辺に洗眼器と安全シャワーの設置が望ましい。
- 環境へのばく露制御：** 作業場の管理と廃棄物の処理を十分に実施して下さい。
環境への放出を避けて下さい。

*ACGIH	米国産業衛生専門家会議 (American Conference of Governmental Industrial Hygiene)	
*NIOSH	米国労働安全衛生研究所 (National Institute of Occupational Safety and Health)	
OSHA	労働安全衛生局 (米国) (Occupational Safety and Health Administration)	
MSHA	鉱山安全衛生局 (米国) (Mine Safety and Health Administration)	
TWA	時間加重平均 (一日 8 時間/週 40 時間のばく露) (Time-weighted Averages are based on 8h/day, 40h/week exposure)	
STEL	短時間ばく露許容濃度 (15分間のばく露)	(Short Term Exposure are based on 15-minutes exposure)
STEV	短時間ばく露許容値	(Short Term Exposure Value)

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質の情報

物理的形状：	液体	外観：	ライトブルー
色：	ライトブルー	匂い：	データ無し
味：	データ無し	微粒子タイプ：	該当無し

微粒子サイズ：	該当無し	エアゾールタイプ：	該当無し
臭気閾値：	データ無し	物理的及び化学的性質：	データ無し

一般的性質

沸点：	>100°C	融点：	データ無し
分解温度：	データ無し	分解熱：	データ無し
pH：	7.0	比重/相対密度：	0.97-0.98 (水=1)
密度：	データ無し	嵩密度：	データ無し
溶解度(水)：	溶ける	溶解性(溶剤)：	データ無し
粘着性：	データ無し	爆発性：	区分外
酸化性質：	区分外		

揮発度

蒸気圧：	データ無し	蒸気密度：	データ無し
蒸発率：	1.0 (水=1.00)	揮発性有機化合物(Wt.)：	データ無し
揮発性有機化合物(Vol.)：	データ無し	揮発性物質(Wt.)：	93%
揮発性物質(Vol.)：	データ無し		

可燃性

引火点：	タグ密閉式試験：無し	爆発上限界：	データ無し
爆発下限界：	データ無し	自然発火：	データ無し
SADT：	データ無し	燃焼熱：	データ無し
燃焼時間：	データ無し	炎(継続時間)：	データ無し
炎(高さ)：	データ無し	炎(延長時間)：	データ無し
着火距離：	データ無し	可燃性(固体、気体)：	区分外

環境

半減期：	データ無し	オクタノール・水分係数：	データ無し
油・水分係数：	データ無し	生物蓄積係数：	データ無し
生物濃縮係数：	データ無し	生物化学的酸素要求量(BOD5)：	データ無し
化学的酸素要求量：	データ無し	残留性：	データ無し
分解性：	データ無し		

10. 安定性及び反応性

反応性： 通常の使用条件の下で判明している有害反応はなし

化学的安定性： 通常の温度及び気圧の下で安定している

危険反応の可能性： 危険重合の発生なし

回避すべき状態： 高温、火花、裸火、使用中の電気回路

素材不適合性： 酸化剤、強酸

有害分解生成物： 火災の場合、酸化炭素、炭化水素、ガス、煙、煤煙を生成する恐れ

11. 有害性情報

有害性情報

急性毒性：

成分名	CAS No.	データ
データ無し	データ無し	データ無し

GHS	分類
急性毒性：	OSHA HCS 2012- 区分外
吸引性呼吸器有害性：	OSHA HCS 2012- 区分外
発がん性：	OSHA HCS 2012- 区分外
生殖細胞の感作性：	OSHA HCS 2012- 区分外
重篤な目の損傷/刺激性：	OSHA HCS 2012- 区分外
皮膚の腐食/刺激性：	OSHA HCS 2012- 皮膚刺激性-区分 2
皮膚の感作性：	OSHA HCS 2012- 区分外
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：	OSHA HCS 2012- 区分外
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：	OSHA HCS 2012- 特定標的臓器毒性（単回ばく露）-区分 3：麻酔作用
生殖毒性：	OSHA HCS 2012- 区分外

標的臓器： 中枢神経系
 侵入/ばく露経路： 吸い込み、皮膚、目、飲み込み
 吸い込み

急性（即時性）：中枢神経系に影響を及ぼす恐れあり。症状はめまいや眠気、倦怠感、昏睡状態、死亡を含むガスの吸引は中枢神経に損傷をもたらす恐れあり

慢性（遅発性）：データ無し

皮膚

急性（即時性）：皮膚の刺激をもたらす

慢性（遅発性）：長期のまたは反復ばく露の場合は皮膚炎をもたらす恐れあり

目

急性（即時性）：軽度の目の刺激をもたらす恐れあり

慢性（遅発性）：データ無し

飲み込み

急性（即時性）：刺激をもたらす恐れあり

慢性（遅発性）：データ無し

12. 環境影響情報

生態毒性

環境影響： 本製品に生態毒性効果は知られていない
 毒性： データ無し
 魚類： データ無し
 ミジンコ及び水生無脊椎動物： データ無し
 藻類： データ無し

残留性と分解性： データ無し

生体内蓄積の可能性： データ無し

土壌中の移動性： データ無し

その他の副作用： データ無し

その他の情報： 環境へ及ぼす影響について入手可能なデータはありません。含有成分及び類似製品の特性に基づき、水生毒性値は $\leq 1\text{mg/L}$ と見込まれます。

13. 廃棄上の注意

廃棄処分方法

内容物の処分： 国際、国、都道府県、市町村の規則に従って、内容物または容器を処分して下さい。

